

# ベトナムの美術教育における新しい教育方法について

福田 隆真\*<sup>1</sup>・ター タン フェン\*<sup>2</sup>・佐々木 宰\*<sup>3</sup>

On the New Teaching Method of School Art Education in Vietnam

FUKUDA Takamasa\*<sup>1</sup>, TA Thanh Huyen\*<sup>2</sup>, SASAKI Tsukasa\*<sup>3</sup>

(Received August 6, 2021)

キーワード：ベトナム、美術教育、カリキュラム、教育方法、教科書

## はじめに

本稿はアジアの美術教育の調査研究の一環として、ベトナムの美術教育について考察するものである<sup>1)</sup>。福田と佐々木はベトナムの美術教育について、2013年と2015年に調査結果を報告した<sup>2)</sup>。また筆者のフェンはベトナムのFPT大学に所属しながら山口大学大学院東アジア研究科博士課程を修了した<sup>3)</sup>。現在、ベトナムは急速な経済発展を遂げており、社会の変化に伴って教育の内容、方法、環境の改革がなされ、美術教育にも変化がもたらされている。特に教育方法についての改革が進められている。福田と佐々木が2013年9月にハノイの教育訓練省の美術教育担当者ハン氏に取材をした際、彼は児童生徒主導型の教育に変えていくことを話された<sup>4)</sup>。2021年の現在、ベトナムの美術教育の教育方法や指導法は改革されてきた。そこで本稿では、ベトナムの美術教育の実施方法や美術表現の育成が授業でどのように扱われているのかを、資料、教科書、ハノイの小学校、中学校の教員へのインタビューなどによって調査、考察をする。

## 1. ベトナムの教育制度

ベトナムでは2020年より教育法改正の実施により、教育制度を、小学校5年間を義務教育とし、基礎中学校4年間と幼稚園の5歳児の1年を普及教育としている。また、教育内容として外国語・情報技術の教科を図り、教育のデジタル化を進めている。

小学校の5年間は、年齢として6歳から10歳までである。授業科目は、国語、算数、道徳、外国語1（小3、4、5学年）、自然と社会（小1、2、3学年）、歴史（小4、5学年）、地理（小4、5学年）、科学（小4、5学年）、情報技術（小3、4、5学年）、テクノロジー（小3、4、5学年）、芸術（音楽、美術）、体育、体験活動、である。また、選択科目として、小民族の言語<sup>5)</sup>、外国語（小1、2学年）がある。

中学校は4年制で、11歳から14歳までである。学年は小学校からの連続で6年生から9年生となる。中学校での必修科目は、国語、算数、外国語1、国民教育、自然科学、歴史と地理、テクノロジー、体育、芸術（音楽、美術）、情報技術、体験活動・職業指導である。選択科目として、小民族の言語、外国語2となっている。

小中学校の美術教育は教科「芸術」で実施されている。芸術科は音楽と美術を含んでいるが、授業は別々に行われており、音楽と美術の合科や融合ではない。そして教科書も以前は音楽と美術の合本であったが、現在の教科書は音楽と美術は独立している。美術の授業時間は年間35週で週に1コマ（45分）の授業がなされている。ただし中学校4年生では半分の18週で授業が行われている。

## 2. 学習指導の流れと新しい教育方法

---

\*1 山口大学名誉教授 \*2 ベトナムFPT大学 \*3 北海道教育大学

教育政策や教育内容が国の教育として教育現場に反映され実質化されるためには、いくつかの審査や機関を通過するように制度設計されている。日本の場合、文部科学省によって学習指導要領が作成され、それに基づいて教科書が編纂される。教科書は文部科学省の検定に合格したものが採択される。採択はある程度の地方自治体を単位として行われる。教科書には教育用に資料集が作成されている。

教科書、資料集などを使用して教員が授業を中心に教育を実施し、被教育者の子どもたちに教育内容が伝わっていく。また教員は定期的な研修が実施され、教員免許の更新も義務化されている。そのことで教員の質の担保を図っている。さらに学校の授業においては地域の文化財や人材との活用や連携が促進されている。これらを実質化のプロセスとすると、以下ようになる。①国の教育政策→②学習指導要領→③教科書作成→④教材・資料→⑤教員→⑥地域の文化財・人材→⑦被教育者（子供たち）

このプロセスをベトナムの学習指導の流れに当てはめてみると次のようになる。①国の教育政策→②教育訓練省の方針・通達→③地方自治体の教育訓練署（日本での教育委員会に相当）・教科書選定（私立学校の場合は各学校が選定）→④学校・教員・カリキュラム作成→⑤被教育者（子どもたち）。①では政府が長期的展望や国際情勢も踏まえて、国の教育方針や政策を決め、それを②の教育訓練省が具体化して方針を③の各自治体に通達する。各自治体の教育訓練署は管轄の学校に通達を指令する。そして各学校では通達に基づくプログラム（授業計画）を作成し、教育訓練署の許可を受ける。許可されたプログラムに基づいて授業を実施する。プログラム作成に当たっては教科書を参考に行っている。教科書は教育訓練省に属する出版社が作成している。また、大学が教育訓練省と文化通信省の許可のもとに独自に作成している。美術は現在6種類の教科書が出版されており、一般の書店で購入することができる。

2016年に新しい教育方法が施行された。それは②から③に相当するもので、教育訓練省は各地の教育訓練署に、新しい教育方法の通達を行っている。その通達の主旨は以下のようになっている<sup>6)</sup>。

小学校および中学校における2016年から2017年にかけての学年では、新しい方法で美術教育が良い成果を獲得するため、教育訓練省は教育訓練署に下記の内容の実行を要求する。

1. 地方自治体の教育訓練署は、高校および中学を指導し、各地方の状況に応じて新しい方法で美術教育の展開における指導性と柔軟性を促進し、僻地を支援する。  
各学校は、現在、美術の教員に対して、高校および中学の教育プログラムにおける美術科目の目標・要求を保障し、現在の規制による各レッスン（授業の一コマ）の内容に基づき、テーマの通りにカリキュラムを作成するため、状況を整備する。教員がテーマに沿って教育できるように、各学校は美術の授業を合理的に整理する。
2. 新しい学年に入る前に、高校および中学の教員に対してSAEPS<sup>7)</sup>というプロジェクトの「小学校の教員に向けた美術教育の支援」に基づいて、訓練を広げる。訓練を受けるクラスの教師は中学校に対応する教材を調整する必要がある。  
教育訓練署は監視・経験を学ぶとともに、各教員・各学校が展開段階で困れば、速やかに支援する。教育訓練署は、美術教員が学校の特定集団や中学高校間に沿って専門的な活躍ができるように、同僚との交流や経験を学んだり、情報交換したりするために、教員を激励し状況を備える。
3. 新しい方法で美術教育を展開するため、美術教科書およびドリルが足りない時には、教員は現在の教材を合理的に調整し、学生が上手く使えるように奨励する。
4. 美術教育における新しい内容・方法は試みの段階であり、経験から学び、修正したり完成したりするので、教員の評価は新しい方法を積極的に実行することで、教員に対する応援・援助・激励を中心とする。
5. 新しい教育を展開する際に、困ることがあれば、教育訓練省に報告することで、早急に対応する。  
定期的に各学年末に市レベルの教育訓練署はその下位の区の教育課や各学校に、新しい方法で美術教育の展開についての総括・評価を行い、書面で教育訓練省へ報告する。

これらの通達によって、教員は従来のように教科書の教材を国が決め指導案通りに教えるのではなく、教員や学校の裁量によって、教育内容や教育方法を作成、実施することが出来るようになった。それは生徒の実生活を考慮し、生活に連結した教育を促進することを目的としている。

そしてSAEPS（小学校の教員に向けた美術教育の支援）の、現代における美術教育の目標として次のような項目を設けている。

（１）美術教育によって形成・発展される能力として、①学習能力・学習方法、②学習過程によって形成・発展される能力。

（２）計画を立て、美術の教育及び学習プロセスを実施する。①学習方法における相互性。②美術の教育及び学習プロセスの統合。③教員の役割。④生徒の学習結果に基づいて教育し、連続的に評価する。⑤美術の教育・学習プロセスについて計画を立てる。

### 3. カリキュラムの作成と実施

美術教育の実施においてそのカリキュラムの作成が要点となる。ここでは従前の小学校の美術のカリキュラムと、現在の中学校のカリキュラムを提示する。カリキュラムの作成は教育訓練省の指示に沿って各学校が作成する。ベトナムの小学校の美術の教育内容の例として表1がある<sup>8)</sup>。これは2006年のものである。

表1 小学校の美術カリキュラム

（教育訓練省の大臣により、書簡9832/BGD&DT - GDTHの通り、2006年9月1日公布）

週目	1年	2年	3年	4年	5年
1	遊んでいる児童の絵を観察する	飾りを描く：濃淡で描く	美術についての常識：児童の絵を観察する	色と混色のやり方	美術についての常識：「ゆりの隣にいる女性」を観察する
2	直線を描く	美術についての常識：児童の絵を観察する	絵の飾り：色、見本の縁に色づける	見本の通りに描く：花、葉っぱを描く	絵の飾り：飾る色
3	色と簡単な形に色付けする	見本の通りに描く：はっぱを描く	見本の通りに描く：果物を描く	絵を描く：動物というテーマ	絵を描く：私の学校というテーマ
4	三角形を描く	絵を描く：簡単な庭園というテーマ	絵を描く：私の学校というテーマ	模様：民族の模様	見本の通りに描く：立方体・球を描く
5	曲線を描く	粘土で作る練習：動物を作る・動物の形のように紙を千切ったり、貼ったりする・動物を描く	粘土で作る練習：果物を作る	美術についての常識：風景の絵を観察する	粘土で作る練習：おなじみの動物を作る
6	丸い形の果物を描く・粘土で作る	絵の飾り：色、見本の絵に色づける	模様を四角形に模様を描き、色付けする	絵を描く：球形の果物を描く	絵の飾り：線対称の模様を描く
7	果物を描き、色付けする	絵を描く：学校に行くというテーマ	見本の通りに描く：瓶を描く	絵を描く：故郷の風景というテーマ	絵を描く：交通安全というテーマ
8	長方形・正方形を描く	美術についての常識：「ダンバウの音」を観察する	絵を描く：似顔書き	粘土で作る練習：おなじみの動物を作る	見本（円筒形・球形）の通りに描く
9	風景の絵を観察する	見本の通りに描く：帽子（ノン）を描く	絵の飾り：見本の絵に色づける	絵の模様：簡単な花・葉っぱを描く	美術についての常識：ベトナムの古代彫刻について大まかに紹介する
10	果物（丸い形）を描く	絵を描く：似顔絵を描く	美術についての常識：静物画を観察する	見本の通りに描く：円筒形の物を描く	模様：軸対称で飾る
11	物の輪郭に色付けする	絵の飾り：模様を描き、色付けする	見本の通りに描く：枝・葉っぱを描く	美術についての常識：画家および児童の絵を観察する	絵を描く：ベトナムの先生の日というテーマ
12	絵を描く：自由に描く	見本の通りに描く：旗を描く（国旗または祭りの旗）	絵を描く：ベトナムの先生の日というテーマ	絵を描く：生活というテーマ	見本（2つの物）の通りに描く
13	魚を描く	絵を描く：花壇または公園というテーマ	模様：茶碗を飾る	物の輪郭を飾る	粘土で作る練習：人の姿を作る
14	四角形にある模様を色付けする	絵の飾り：四角形に模様を描き、色付けする	見本の通りに描く：ペットを描く	見本（2つの物）の通りに描く	絵の飾り：物の輪郭を飾る
15	木・家を描く	見本の通りに描く：コップを描く	粘土で作る練習：動物を作る	絵を描く：似顔書き	絵を描く：軍隊というテーマ
16	花瓶を描く・千切ったり、貼ったりして作る	粘土で作る練習：動物を作る・動物の形のように紙を千切ったり、貼ったりする・動物を描く	見本の絵に色づける	粘土で作る練習：動物または車を作る・紙を千切ったり、貼ったりする	見本（2つの物）の通りに描く
17	自分の家を描く	美術についての常識：ベトナムの民間伝承の絵画（「富貴」「雌鶏」）を観察する	絵を描く：兵士というテーマ	模様：四角形を飾る	美術についての常識：「グリラの射撃練習」を観察する
18	四角形に模様を描き、色で染める	絵の飾り：絵（「雌鶏」）を色付けする	見本の通りに描く：花瓶を描く	見本の通りに描く：花瓶・果物の生物	模様：長方形を飾る
19	鶏を描く	絵を描く：中間休憩の時というテーマ	模様：四角形を飾る	美術についての常識：ベトナムの民間伝承の絵画を観察する	絵を描く：お正月・お祭りおよび春というテーマ

20	バナナを描く・粘土で作る	見本の通りに描く：ハンドバックを描く	絵を描く：お正月またはお祭りというテーマ	絵を描く：故郷のお祭りというテーマ	見本(2つまたは3つの物)の通りに描く
21	風景の絵に色付けする	粘土で作る練習：簡単な人の姿を作る・描く	美術についての常識：象について調べる	模様：円形を飾る	粘土で作る練習：自由に作る
22	家のペットを描く	絵の飾り：輪郭を飾る	絵の飾り：色付け、手書き	見本の通りに描く：コップおよび果物	模様：薄い大文字・濃い大文字について調べる
23	動物を観察する	絵を描く：母または先生というテーマ	見本の通りに描く：甕を描く	粘土で作る練習：簡単な人の姿を作る	絵を描く：自由に描く
24	簡単な木を描く	見本の通りに描く：動物を描く	絵を描く：自由に描く	模様：手書きについて調べる	見本(2つまたは3つの物)の通りに描く
25	「民間伝承の絵画」に色付けする	模様：四角形・円形の模様を描く練習	模様：長方形に模様を描き、色付けする	絵を描く：私の学校というテーマ	美術についての常識：「Ho 様が出張に行く」を観察する
26	鳥・花を描く	絵を描く：動物(ペット)というテーマ	粘土で作る練習：動物を作る・動物の形のように紙を千切ったり、貼ったりする・動物を描く	美術についての常識：生活の絵を観察する	模様：薄い大文字・濃い大文字を描く練習
27	車を描く・粘土で作る	見本の通りに描く：学生のランドセルを描く	見本の通りに描く：花瓶・果物を描く	見本の通りに描く：木を描く	絵を描く：環境というテーマ
28	四角形・四角形の縁を飾り、色付けする	絵の飾り：見本に書き加えり(鶏)、色づける	絵の飾り：見本に色づける	絵の飾り：花瓶を飾る	見本(2つまたは3つの物)の通りに描き、色づける
29	「家の鶏」(市外の学校は「好きな動物の絵を描く」というテーマに変更してもいい)	粘土で作る練習：動物を作る・動物の形のように紙を千切ったり、貼ったりする・動物を描く	絵を描く：静物画(花瓶および果物)	絵を描く：交通安全というテーマ	粘土で作る練習：お祭りというテーマ
30	児童の生活について描く	絵を描く：環境の衛生というテーマ	見本の通りに描く：ティーポットを描く	粘土で作る練習：自由に作る	模様：壁新聞を飾る
31	簡単な自然の風景を描く	模様：四角形を飾る	絵を描く：動物というテーマ	見本の通りに描く：円筒形・球形を描く	絵を描く：自分の夢というテーマ
32	シャツ・スカートの縁を描く	美術についての常識：象について調べる	粘土で作る練習：簡単な人の姿を作る・紙で千切ったり貼ったりする	絵の飾り：植木鉢を描き、飾る	見本の通りに描く：静物を描き、色付けする
33	「女の子と花」の絵を描く	見本の通りに描く：甕を描く	美術についての常識：世界の児童の絵を観察する	絵を描く：夏の遊楽というテーマ	模様：児童のキャンプの門・テントを飾る
34	絵を描く：自由に描く	絵を描く：簡単な風景というテーマ	絵を描く：夏というテーマ	絵を描く：自由に描く	絵を描く：自由に描く
35	1年間の作品を展開する	1年間の作品を展開する	1年間の作品を展開する	1年間の作品を展開する	1年間の優秀な作品を展開する

2006年の時点では、小学校の美術の授業は美術の鑑賞、絵画、簡単な工作が中心である。工作では材料として、紙や粘土が扱われている。年間35週の毎回の授業内容は教育訓練省によって決められており、教員は決められたカリキュラムに即して授業を行っていた。国全体が統一されたカリキュラムで授業が実施されていた。いわゆるナショナルカリキュラムの一種である。

その後、2011年以降に、カリキュラム作成に係わる事項が改革されて、前述のような裁量が増えてきた。具体的なカリキュラム作成について、筆者のフェンは私立の小学校と国立の中学校の教員にインタビュー調査を行った<sup>9)</sup>。

それによると、私立の小学校ビンスクール・オーシャン・パーク学校では校内にプログラム・ルームを設置している。カリキュラム作成に当たっては次のようである。①教育訓練省が提供する内容と外国の教科書に基づいて作成している。②美術教育の目標としては、児童が主体的に表現し、造形要素や作品を感じることを重視している。また、グローバル・シチズンの育成を目指している。③授業時数は1週間に1コマであるが、それ以上でも可能である。④国立学校よりも設備が充実しているので、新しい傾向を採り入れることが出来る。それにより児童には美術に対する興味をもたらすことが出来る。

次に、国立の中学校フォン・マイ中学校の教員へのインタビューでは、カリキュラム作成の要点を次のように定めている。①教育訓練省の指示によって、新しい教育方法に基づいて授業を行う。②教科書はベトナム教育出版社のものを使用する。③授業は2学期制で35コマ行い、一つの題材を3か4コマで行う。④授業では各生徒の能力の発展に応じて行う。従前の教育方法と異なり、生徒は自由に創造でき、多様なスキルを運用することができる。⑤カリキュラムの展開は教育訓練省が提供する内容に従う。

このように現在は児童生徒主導型の指導方法に転換してきている。この児童生徒主導型の教育方法、指導方法がベトナムの最新の教育改革である。2013年に福田と佐々木が教育訓練省でインタビューした時に「2015年から、児童生徒の表現を重視した方向に変える」と述べていたことが実現したと言える。しかしそ

の時に美術教師の質の問題も指摘された<sup>10)</sup>。カリキュラムの実施には教員の力量に負うところが多いので、教員の資質の向上の問題をどのように解決するかも検討していた。

表2 7年生(中学2年)の美術カリキュラム2021年

カリキュラム 科目:美術(7年-中2年)  
第1学期:18週(コマの数:18コマ+1)、第2学期:17週(コマの数:17コマ+1)、1年間:35週(コマの数:35コマ+2)

週	テーマの番号	コマの数	テーマ	目標	代替内容	注釈
1 2 3 4	1	4	陳朝時代	* 陳朝時代の美術の概要について納得できる * 陳朝時代の彫刻作品を模倣でき、伝統的な衣装を飾るために陳朝時代の模様・パターンが使える * 作品についての紹介・評価・感想	* 陳朝時代の美術 * 陳朝時代の代表的な芸術作品 * 応用装飾、伝統的な衣装	
5 6 7 8	2	4	部屋を形成する	* 部屋の構造・空間・特徴が納得できる 透視投影で部屋を描く、3D空間における物が形成できる * 空間における立体の美しさを感じる * 作品についての紹介・評価・感想	* 見本の通りに描く * 透視投影	
9 10 11 12	3	4	生活における字飾り	* 生活における字飾りの多様・役割が納得できる * 壁新聞・雑誌を造るため、飾るレタリングテンプレートの作り方・字の表し方が分かる * 作品についての紹介・評価・感想	* 飾るレタリング * カレンダー・壁新聞を飾る * 長方形の物を飾る	
13 14 15	4	3	自然な景色	* 風景を素描するかたが分かる * 粗描・素描した風景を描く * 作品についての紹介・評価・感想	* 素描 * 室外の素描 * 風景の絵	
16 17 18 19	5	4	周りの生活	* 人間の様々な姿を素描できる * 素描から人の美しさ・生活における風物についての絵の配置ができる * 作品についての紹介・評価・感想	* 人間の姿を素描する * 「周りの生活」・「伝統的なゲーム」テーマ通りに描く	テーマが終わってから、第1学期のテストがある
20 21 22	6	3	19世紀の終わりから1954年にかけてベトナムの美術の概要	* 19世紀の終わりから1954年にかけての代表的な作者および作品を調べることで、ベトナムの美術の概要が分かる * 自分の感想でこの時代の作品が模倣できる * 芸術の価値について教育意識・維持・珍重 * 作品についての紹介・評価・感想	* ベトナムの美術/19世紀の終わりから1954年にかけての代表的な作者および作品 * 自由に選ぶというテーマ	
23 24 25	7	3	静物(2つの見本)を描く	* 見本の形成の特徴・構造・割合が納得できる * 見本と同じように描く * 作品についての紹介・評価・感想	見本(2つ)を描く	
26 27 28	8	3	イタリアのルネサンスにおける代表的な作者、作品	* ルネサンスにおけるイタリア美術について納得・言い表す * イタリアのルネサンスにおける作品を模倣する・感じる * 作品についての紹介・評価・感想		
29 30 31	9	3	生活における応用装飾	* 自然におけるイメージから模様を造る * 模様を基本的な形・応用装飾に使う * 作品についての紹介・評価・感想		
32 33 34 35	10	4	交通	* 交通というテーマについて描く * 3D(または2D)で乗り物を形成できる * 交通についてのテーマで作品を組み合わせ、2D・3D配置できる * 空間における立体の美しさを感じる * 作品についての紹介・評価・感想	* 素描する * 交通というテーマを描く * 見つけたものを形成する	まとめの展示として2コマ追加することができる。

#### 4. 美術教科書の構成

ベトナムの小中学校はその多くが国立であるが、割合にして1%以下の私立学校が設置されている。教科書の選択において国立の学校は国内の教科書から選択し、私立学校では外国からの教科書選択が許されている。

ここでは第7学年(中学校1年)の美術の教科書の内容を紹介し、教材の構成について考える。採り上げる教科書は教育訓練省に属するベトナム教育出版社のもので、2021年発行のものである<sup>11)</sup>。題材内容は以下である。(図1参照)

前書き

1. 陳朝におけるベトナム美術の概要(4コマ): ①陳朝の美術について調べる。②陳朝の彫刻作品の模様の模写。③陳朝の模様でアオザイの衣装をデザインする。④作品の紹介・展示。
2. 部屋のデザイン(4コマ): ①透視図法で部屋を描く。②部屋の立体模型を作る。③ものを入れて部屋の空間のデザインをする。④作品の紹介・展示。

3. 生活におけるレタリング（4コマ）（図2参照）：①レタリングのデザインを知る。②壁新聞や雑誌を作る。③生活で運用されるレタリングを知る。④作品の紹介・展示。
4. 自然の風景（3コマ）（図3参照）：①風景のスケッチ。②彩色。③作品の紹介・展示。
5. 生活画（4コマ）：①人の姿の素描。②「周りの生活」というテーマで描く。③作品の紹介・展示。
6. 19世紀の終わりから1954年までのベトナム美術の概要（3コマ）（図4参照）：①19世紀の終わりから1954年までのベトナムの美術作品を調べる。②19世紀の終わりから1954年までのベトナムの美術作品を模写する。③作品の紹介・展示。
7. 静物（2つの手本）を描く（3コマ）（図5参照）：①構図を模写する。②鉛筆で濃淡を描く。③彩色
8. イタリアのルネサンスにおける代表的な美術家と作品（3コマ）：①イタリアのルネサンスにおける代表的な美術家と作品について調べる。②イタリアのルネサンスにおける代表的な作品を模写する。③作品の紹介・展示。
9. 生活における装飾と応用（3コマ）：①飾る模様を作る。②基本的な装飾における模様を使用する。③装飾の応用に模様を使用する。
10. 交通（4コマ）（図6参照）①交通を描く。②乗り物の模型を作る。③乗り物の模型を風景の模型に配置する。④作品の紹介・展示。

これらの題材における指導方法は、①調べる・知る→②実行（実習・実技）→③評価、となっている。題材全体の指導方法だけでなく題材に含まれている項目についても、調べる→実行→評価、の過程を経るようになっている。

教材の内容は2013年版の教科書とほとんど同じである<sup>12)</sup>。陳朝時代の美術、19世紀末から1954年までの美術、模様デザイン、静物画、風景画、イタリア・ルネサンスの美術、レタリング、交通安全等はテーマとしては現行の教科書と同様である。鑑賞や知識の学習として陳朝、近代、西洋のルネサンスが教材として採り上げられている。陳朝は1226年から始まった王朝である。建築、陶器、模様などが採り上げられている。また19世紀末から1954年までの美術作品と美術家を採り上げて、近代の美術の始まりとベトナム独自の美術の習得を促している。

つまりベトナムの美術教育として教えるべき内容には大きな変化はなく、それらの内容を生徒が修得することを重視している。しかし修得の仕方が異なってきた。従来のように教師が教科書と決められたカリキュラムに則って、その通りに指導してきた教育方法に対して、生徒の表現を重視する方法へと変わってきたのである。このことが教育改革の一番の要点である。

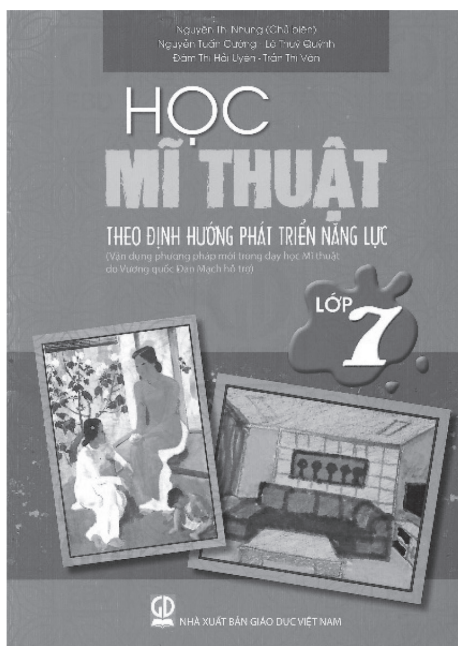


図1 7年生美術教科書表紙

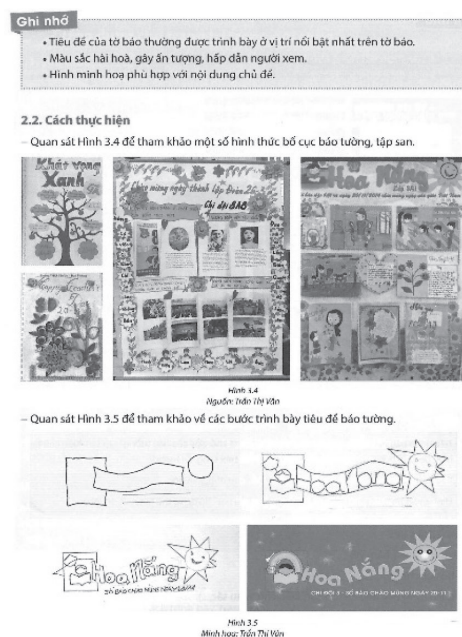


図2 生活の中のレタリング

## 3.2. Vẽ màu cho bức tranh phong cảnh từ kĩ họa

### 2.1. Cách thực hiện

- Quan sát Hình 4.6 để nhận biết cách vẽ màu bức tranh phong cảnh từ kĩ họa.



Hình 4.6  
Minh họa cách vẽ màu

#### Ghi nhớ

Cách vẽ màu cho bức tranh phong cảnh từ kĩ họa:

- Từ bức kĩ họa, vẽ màu mảng chính, mảng phụ của bức tranh.
- Vẽ màu thể hiện rõ chi tiết.
- Nhấn đậm nhạt để hoàn thiện.

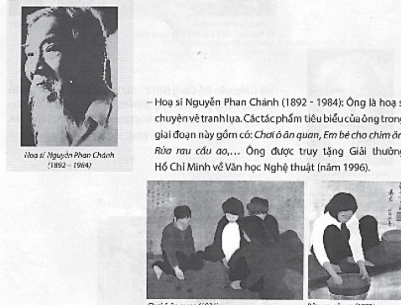
33

図3 自然の風景



Độc mắng (1939) (tranh sơn mài của họa sĩ Nguyễn Gia Trí)  
Hạt châu nữ và em bé (1944) (tranh sơn dầu của họa sĩ Lê Ngọc Vân)

- Đọc thêm nội dung dưới đây để hiểu hơn về một số tác giả, tác phẩm tiêu biểu giai đoạn này:



Họa sĩ Nguyễn Phan Chánh (1892 - 1984)

Họa sĩ Nguyễn Phan Chánh (1892 - 1984): Ông là họa sĩ chuyên về tranh lụa. Các tác phẩm tiêu biểu của ông trong giai đoạn này gồm các *Chơi ô ăn quan*, *Em bé cho chim ăn*, *Rửa rau cứu mẹ...* Ông được truy tặng Giải thưởng Hồ Chí Minh về Văn học Nghệ thuật (năm 1996).

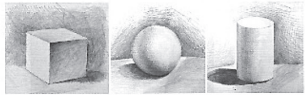
Chơi ô ăn quan (1931)  
(Tranh lụa của họa sĩ Nguyễn Phan Chánh)

Rửa rau cứu mẹ (1937)  
(Tranh sơn mài của họa sĩ Nguyễn Phan Chánh)

45

図4 19世紀末から1954年までのベトナムの美術作品

- Quan sát Hình 7.4 để tham khảo cách vẽ đậm nhạt ở các khối hộp, khối cầu và khối trụ.



Hình 7.4  
Minh họa: Phong Văn Thuận

- Sử dụng bài vẽ hình từ hoạt động trước, thực hành vẽ đậm nhạt theo các bước trên.

#### LƯU Ý

- Vẽ phác mảng đậm nhạt theo cấu trúc của mẫu:
  - + Khối trụ: Mảng đậm nhạt dọc theo thân.
  - + Khối cầu: Mảng đậm nhạt theo chiều cong.
- Luôn so sánh tương quan giữa bài vẽ và mẫu về hình dáng, cấu trúc, tỉ lệ, độ đậm nhạt.
- Vẽ nét mềm mại hoặc khoẻ khoắn để thể hiện sự chuyển tiếp giữa các mảng đậm nhạt của hình khối, không viền đều công nhấc.

### 2.3. Nhận xét

Chia sẻ, nhận xét bài vẽ của mình và của bạn về tương quan đậm nhạt giữa các vật mẫu, giữa vật mẫu với không gian xung quanh.

## 3. Vẽ màu

### 3.1. Thực hành

- Sắp đặt lại màu vẽ theo tiết 1.
- Nhớ lại cách vẽ hình ở tiết 1 đồng thời quan sát kĩ mẫu để thấy được các mảng màu chính và thực hành vẽ màu.
- Quan sát Hình 7.5 để tham khảo bài vẽ màu ở các chất liệu khác nhau.



Hình 7.5  
Minh họa: Nguyễn Thị Nhung

54

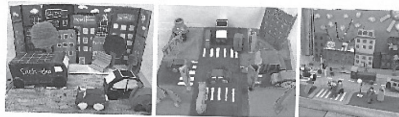
図5 静物画

## 3.3. Sắp xếp các mô hình phương tiện thành bố cục giao thông

### 3.1. Tìm hiểu

Quan sát Hình 10.5 và thảo luận nhóm để tìm hiểu về:

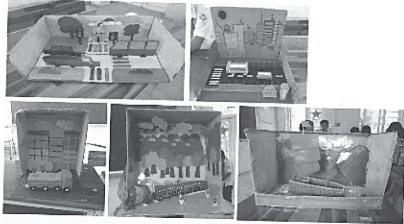
- + Bối cảnh không gian.
- + Các loại phương tiện.
- + Vị trí tham gia giao thông của các phương tiện.
- + Mức độ an toàn giao thông.



Hình 10.5  
Nguồn: Trần Thị Liên

### 3.2. Thực hành

- Tham khảo các sản phẩm trong Hình 10.6 để có thêm ý tưởng sắp xếp các phương tiện và không gian từ các mô hình đã tạo.



Hình 10.6  
Nguồn: Bùi Văn Khích

76

図6 交通の模型製作

## 5. 美術教育の教育方法と創造性

学校教育における美術教育の教育方法は近代以降、試行錯誤がなされてきた。概略的に捉えるならば「教える方法」か「育む方法」かのどちらかである。そもそも美術教育は「美術」と「教育」の特性を生かすには矛盾を孕んでいる側面もある。なぜなら美術が自由な表現をすることを前提とするならば、「教育」はあるべき姿に当てはまるように育てるのではなく、ありのままの姿に育てることであると言える。日本においては、明治の学制が發布されて以降、臨画教育→新訂画帖→自由画教育→構成教育→経験主義的教育課程→学問中心教育課程→人間中心教育課程→総合的な学習の導入などの、教授重視と育成重視の教育方法を繰り返しながら、螺旋構造によって改善を遂げてきたと言える。

こうした概略的な教育方法の螺旋的な改革によって、美術教育は児童生徒の創造性の育成を目的としてきた。美術教育の目的は「美術文化の継承」と「美術文化の創造」である。そうした意味からすると、現行の

ベトナムの美術教科書とカリキュラムはこの目標を達成しようとしている。2013年の時点では、カリキュラム作成の困難さを教育訓練省の担当者は話されたが、結局は教育内容の変更は最小限に留めて、教育方法の転換を図ってきた。そこには日本の教育方法も参考にされた。個別の単体の題材を教授的に教え込むのではなく、児童生徒が主体的に取り組むように教育方法を変更したのである。お手本の絵を模写するよりも、子どもたちは自由に描く題材を好んでいる、という教員の意見もあった<sup>13)</sup>。

2013年のこうした教育現場の状況から教育課程は徐々に修正されて現在に至っている。学校教育において、知識や技術の習得は社会人となるための基礎として教授されている。技術や知識の習得の後に思考力、判断力、創造力の育成がなされるが、児童生徒を人間として全体的統合的に捉えるならば、技術や知識の習得の過程において、思考力、判断力、創造力の育成を行うことが自然な教育の姿ともいえる。

現行のベトナムの美術教科書には、臨画や模写も取り扱われている。近代のベトナムの美術を従来は「美術の常識」という知識の修得として扱われていたが、現行では単に知識として知るだけではなく、模写をすることで作品の表現の工夫を、実技を通して習得する方法を採用している。これは新しい教育方法の一つである。また19世紀末から1954年までのベトナムの美術を取り上げることは、アジアにおける近代美術の重要性を意味している。1954年は南北の分離が決定された年で翌年の1955年に南ベトナムのベトナム共和国が発足した。

それは筆者の福田が構想した「アジアにおける近代美術の四層構造と美術教育<sup>14)</sup>」において、アジア諸国の西洋美術の影響による独自性の創造を行ってきたことを述べた。それによると、ベトナムのこの時代の美術は、フランスからの西洋美術の影響と漆絵や水彩画などのベトナム独自の表現を融合させた美術活動が行われた。そうした意味で独自性や創造性を有した作品を採りあげていると言える。具体的な美術家は、グエン・ファン・チャン、ト・ゴク・チャン、グエン・ド・クン、ディエップ・ミン・チャウである。これらの美術家は「インドシナ美術学校と近代美術の幕開け」の時代と「抗仏戦争下の画家たち」の時代に分類される<sup>15)</sup>。ベトナムにとって近代美術の始まりとフランスからの文化的な独立を目指した時期であり、美術表現の独自性と創造性が探究された時期である。こうした作品を採り上げることで、自国の文化を知り、美術による創造性を奨励していると考えられる。

美術による自由な表現と創造性の育成ということでは、学校教育以外の教育機関でもなされている。共産党が運営する課外活動の「子どもの宮殿」である。これはベトナム全土に設置されている。ハノイの市街地ホアンキエム湖の近くにも大規模な子どもの宮殿がある<sup>16)</sup>。この学校はベトナムで一番大きく、土日に1000人、夏休みには3000人の子供たちの受講がある。授業は美術、音楽、スポーツ、ダンスなどがあり、美術は1日5クラス、教室は3つある。教員は美術大学出身の美術家が担当している。

2014年の時点での校長グエン・ティエン・ドゥン先生は子どもの宮殿での美術教育について次のように述べている。「ベトナムの学校での美術教育は、教科書通りの題材で柔軟性がないから、子どもたちは退屈している。子どもの宮殿では、美術家が技法や技術、創造力が芸術的心情を実践してアドバイスするので、子どもたちは生き生きと表現している。美術の経験がない者が美術を教えるのは難しい。だからここには沢山の子どもたちが来ている<sup>17)</sup>」

美術教育にあたる者が「美術」を専門とするか「教育」を専門とするかの議論は、従来からなされてきた。美術の内容を教えるのであるから、美術の専門を修得していることは最低条件である。特に小学校高学年以降の知的発達が急速に伸びる時期や、中学生から高校生にかけての芸術的思考をする時期には、美術の深い理解や技術・技能が求められる。2013年の教育訓練省でのインタビューでは、教員の資質の向上が問題であると指摘していた。それを子どもの宮殿が補完してきたともいえる。

学校教育も民間教育も、現在のベトナムの美術教育は児童生徒主体の活動に転換してきている。まだ人的環境や教育環境は充分とは言えない点もあるが、美術教育によって育まれる創造性の育成を目指していると言える。

## 6. まとめ

前節までに、ベトナムの学校教育の美術教育の新しい教育方法について述べた。現在のベトナムの美術教育は、教育方法を変えることにより、子どもたちの主体的表現や創造性を育成しようとしている。それは、現在では世界的に進められている方法でもある。これを実行していくうえで考えられることは以下である。



(1) 子どもたちの美術に対する興味や関心を高めるために、日常的に美的環境の整備をする。家庭、学校、地域社会を通じて美的な環境を形成する。さらに、映像による情報等の活用を行って、子どもの興味を高める。

(2) 教員の質の向上のために、小学校教員養成の美術の授業の拡大、中学校教員における美術の専門科目の拡大と深化を図る。さらには美術大学出身者に小、中学校の教員の資格を獲得させ、専科教員として協働を図る。

(3) 子どもとの宮殿との連携を図る。例えば、現在の中国においては、学校教育と「少年宮」、民間美術学校とが連携をして、美術教育に当たっている。学校教育と学校外の教育機関とが連携をすることは、メリットだけではなく、教育を受ける機会均等や平等の点から考えると、地域格差や所得の格差もあり、デメリットとなる。

## 注

- 1) 本研究は以下の文部科学省科学研究費補助によるものである。石井由理代表「アジアの芸術教育におけるグローバル化と国民文化形成」(2017-2021、研究種目:基盤研究(C)、課題番号:17K04793)及び、佐々木幸代表「アジアにおける美術教育による創造性開発とその実質化に関する研究」(2020-2023、研究種目:基盤研究(C)、課題番号:20K02784)。
- 2) 福田はベトナムの調査研究として以下を報告してしる。福田隆眞、ウォン・ティ・ビック・リエン、佐々木幸、「ベトナムにおける中学校美術教育内容について—教科書による教材を中心に—」、山口大学教育学部附属教育実践総合センター研究紀要第35号、2013、及び、立川奈緒、福田隆眞、「ベトナムの近代絵画と美術教育」、山口大学教育学部附属教育実践総合センター研究紀要第39号、2015。
- 3) FPT大学はITの専門家養成の大学として2006年に創立された。現在はITの他にビジネス、経営、語学、デザインなどの学部を持つ総合大学である。フェンは語学学部を卒業し山口大学大学院東アジア研究科博士課程に2015年に入学し2020年に修了した。
- 4) 2013年9月5日、筆者の福田と共同研究者の佐々木はハノイの教育訓練省の小学校教科調査官のハン氏にインタビューを行った。ハン氏によると、それまでの知識・技術の重視から、生徒の表現を重視した指導法、教育方法に変えていく必要があると説明された。
- 5) ベトナムの民族は構成は54の民族からなり、キン族が86%と最も多く、他にタイ族、タイ族、ムオン族、クメール族など1%で、他にそれ以下の少数民族からなっている。(吉田元夫、『ベトナムの基礎知識』、めこん、2017年、p17)
- 6) 2016年5月12日の教育訓練省からの通達。
- 7) SAEPSはSupport to Art Education in Primally Schoolの略で、小学校を対象としたカリキュラム作成の調査研究である。これは2011年から2015年までのデンマークとベトナムの文化協力の一部分である。<http://vietnam.um.dk/vi/danida/culture/education>より。
- 8) [truongtieuoctaitu@quangtri.edu.vn](mailto:truongtieuoctaitu@quangtri.edu.vn)より。
- 9) 筆者のフェンが2021年6月に電話等によって、私立の小学校ビンスクール・オーシャン・パーク学校と国立の中学校プオン・マイ中学校の教員にインタビュー調査した。小学校のビンスクール・オーシャン・パーク学校は5年制で生徒数550名の中規模学校である。また、私立なので国立学校とは異なる裁量がある。国立のフオン・マイ中学校は4年制で生徒数1240名であり、大規模校である。
- 10) 前掲4)
- 11) 『美術7年生』、グエン・ティ・ニュン、グエン・トゥアン・クアン、ダム・ティ・ハイ・ユエン、チャン・ティ・ヴァン、レ・トゥイ・クイン著、ベトナム教育出版社、2021年
- 12) 福田隆眞、ウォン・ティ・ビック・リエン、佐々木幸、「ベトナムにおける中学校美術教育内容について—教科書による教材を中心に—」、前掲4、参照。
- 13) 2013年9月6日のハノイ市イエンソー中学校、及び9月9日のイエンソー小学校の美術教師に聞き取り調査を行った。それによると、小学校の美術担当のハン先生も中学校のグエン先生も、美術担当教員は、子どもたちはお手本画の模写よりも、自由なテーマで描く構想画や静物画や風景画においてもお手本通りではなく、自分で描くのが好きだ、と述べられた。

- 14) 福田隆眞、「アジアにおける近代美術の四層構造と美術教育」（山口大学教育学部附属教育実践総合センター『研究紀要』第44号、収録）、山口大学教育学部、2017年
- 15) 後小路雅弘、『ベトナム近代絵画展』図録、産経新聞社、2005
- 16) 2014年9月に福田と佐々木が実態調査を行った。
- 17) 2014年9月のインタビューによるものである。福田隆眞、ウォン・ティ・ビック・リエン、「ベトナムの美術教育の実践」（『教育美術』2015年1月号 収録）、教育美術振興会、2015

## 図版出典

図版はすべて『美術7年生』、グエン・ティ・ニユン、グエン・トゥアン・クアン、ダム・ティ・ハイ・ユエン、チャン・ティ・ヴァン、レ・トゥイ・クイン著、ベトナム教育出版社、2021年による。

## 参考文献

- 日本貿易振興機構（ジェトロ）デジタル貿易・新産業部：『ベトナム 教育（EdTech）産業 調査』，2021。  
<https://www.jetro.go.jp/world/reports/2021/02/db6cdef49e854b9a.html> 2021年5月29日
- 吉田元夫：『ベトナムの基礎知識』，めこん，2017。
- 福田隆眞，ウォン・ティ・ビック・リエン，「ベトナムの美術教育の実践」（『教育美術』2015年1月号 収録），教育美術振興会，2015。

## 付記

本稿を作成するにあたり、フェンと福田が構想し、フェンが最新の資料の収集、解釈をし、全体を福田と佐々木がまとめた。